

J. Jpn. Bot. **89**: 54 (2014)

ニュース

金井弘夫：オハツキイチョウ（雄株）の結実

184-XXXXXXXXXX 小金井市XXXXXXXXXXXXXXXX

Hiroo KANAI: Fruiting of Male Stock of *Ginkgo biloba* var. *epiphylla* (*Ginkgoaceae*)

XXXXXXXXXX Koganei, Tokyo, 184-XXXXXX JAPAN

Summary: One of two trees of male *Ginkgo biloba* var. *epiphylla* (*Ginkgoaceae*), growing in Yagisawa, Minobu-cho, Yamanashi Prefecture, central Honshu (138°27'E 35°23'N), Japan designated as a precious natural monument, was reported fruiting according to Bull. Bot. Soc. Yamanashi no. 25: 7–11 (2012) by Mr. I. Mochizuki.

山梨県身延町八木沢の天然記念物オハツキイチョウ（雄木）*Ginkgo biloba* L. var. *epiphylla* Makino (*Ginkgoaceae*) が結実したことが報告されている（望月一二，山梨植物研究 no. 25: 7–11,

2012）。オハツキイチョウは各地で記録されているが，すべて雌木で，雄木はこの株と，同県三珠町薬王寺の 2 本だけだという（渡邊義彦，山梨生物 no. 60: 10–12, 2004）。結実は「お葉つき」ではなく，40 cm ほど伸びた側枝に，約 40 個の種子が房状についているとのことである。この現象は数年前から始まっていたようだという。

イチョウは雌雄異株が普通で，たまに同株のものがあるが，この樹の場合，オハツキの雄花はどうなっているのか，株は性の転換をするのか，両性具備となるのか，「お葉つき」は維持されるのか，開花時の継続した観察が期待される。（金井弘夫）